

## 【高岡税務署長賞】

「税がつなぐ私たちの未来」

富山県立高岡商業高等学校一年 高嶋 美結

私が富山県に住んでいて、いつも感じるのは自然の美しさと人々の温かさです。しかし、当たり前のように感じているこの環境や日常生活が、実は多くの人々の努力や支えによって成り立っていることに気づくことは少ないです。その支えの一つが「税金」です。

税金は、ただお金を取られるものというイメージを持つ人もいるかもしれませんが、実際には税金は私たちの生活を守り、未来をつくるために使われています。例えば、私たちが通う学校の運営費や教材の整備、道路や橋といったインフラの維持、さらには医療や福祉サービスなど、税金によって多くのことが支えられています。

富山県の特徴の一つである自然環境も、税金による保護活動や環境整備があってこそ守られているのです。立山連峰の美しい風景や、豊かな水資源は、県民だけでなく全国の人々にとっても貴重な財産です。しかし、それを守るためには多くの費用が必要です。例えば、洪水や土砂崩れから人々を守るための堤防や防災設備の整備、自然保護活動などに税金が使われています。

また、税金は富山県の将来を担う子どもたちの教育にも使われています。学校の建設や修繕、教育の充実のための予算など、すべて税金によって賄われています。将来の社会を支えるためには、今の私たちがしっかりと学び、成長することが重要です。そして、そのための環境を整えるために、税金が使われているのです。

さらに、税金は災害時の支援にも欠かせないものです。近年、気候変動による異常気象が増えており、富山県でも豪雨や地震などの自然災害が発生した際には、税金を使って被災地への支援や復旧活動が行われます。災害から立ち直り、再び平穏な日常を取り戻すためには、迅速な支援とインフラの整備が必要です。そのために、私たちが日頃から納める税金が大切な役割を果たしているのです。

私たち高校生にとって、税金はまだ直接的な関係が少ないかもしれませんが、税金が私たちの生活にどれだけ深く関わっているかを知ることが大切です。将来、私たちも社会に出て働き、税金を納める立場になります。そのときには、自分たちが支払う税金がどのように使われるのかを理解し、正しく納税することが求められます。

税金は、単なるお金のやり取りではなく、社会全体のための投資です。私たちの未来をつくるために、そして、富山県という美しい環境と豊かな文化を次世代に引き継ぐために、税金は欠かせない存在です。これからも私たち一人ひとりが、税金の役割を理解し、社会の一員として責任を持って行動していくことが大切だと思います。